

水路新技術

- 管の耐震継手 ▶ 内面バンド
- 内圧管蘇生 ▶ 内面バンド管更生工法
- 開水路継手 ▶ 開水路可撓継手

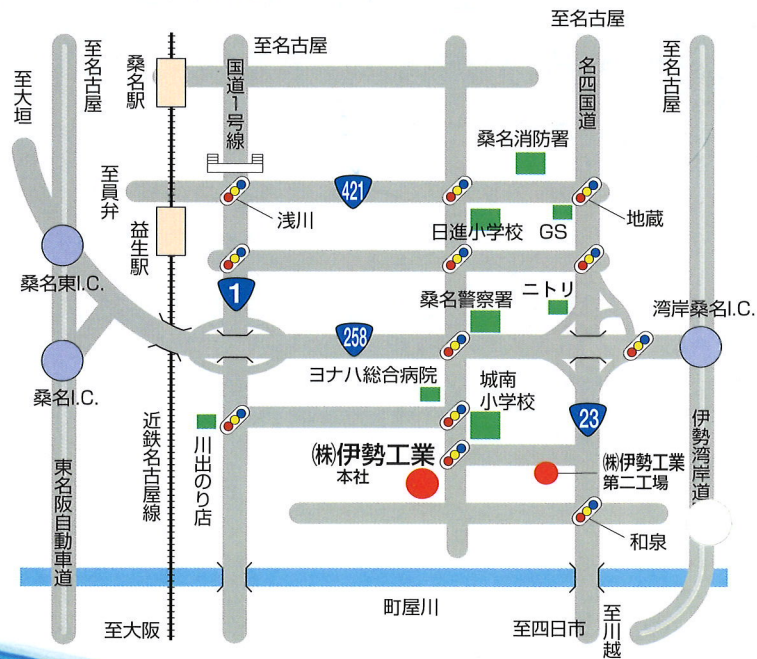
株式会社 伊勢工業



本社・工場
〒511-0838
三重県桑名市大字和泉701番地
TEL 0594-21-1758
FAX 0594-21-7957
ホームページ
<http://www.isekogyo.co.jp>
E-mail: info@isekogyo.co.jp



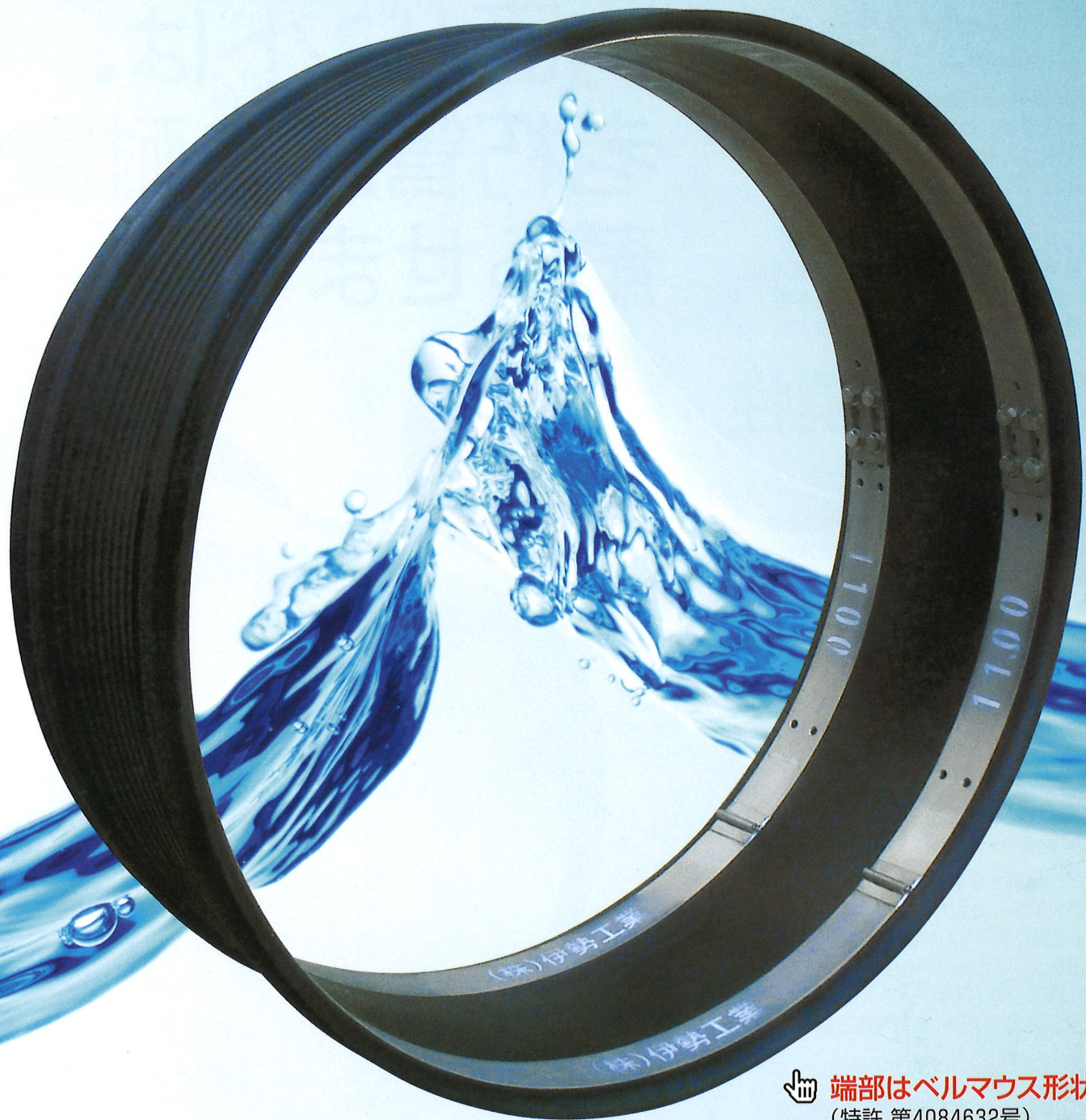
第二工場
〒511-0838
三重県桑名市大字和泉348番地



取扱店

内面バンド **Q·kan** 救管

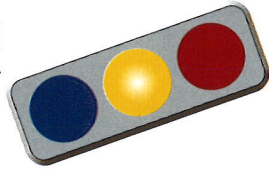
内面バンドは老朽管路を耐震性管路に蘇らせます。



 端部はベルマウス形状
(特許 第4084632号)

株式会社 伊勢工業

埋設後、長い時を経て… 地下で



黄信号が点滅

高止水性

- 内面バンドは水圧と共生し3MPaの止水実績。
- 外水圧型は0.2MPaまで止水可能。
- 標準型は偏角5度まで設置可能。
- 標準型は段差30mmまで設置可能。
- 伸縮型は偏角10度まで設置可能。
- 伸縮型は段差100mmまで設置可能。
- 伸縮型は継手間隔400mmまで設置可能。
- 管内面磨耗傷深さ5mmまで補修不要。
- 高規格高品質ゴムで耐久性保障。

高伸縮可撓性

- 阪神淡路大震災で安全性実証。
- 不等沈下に追随し止水性確保。
- 輪荷重による影響を受けず止水性確保。
- 管継手ゴムの経年劣化をカバーし止水性確保。

低損失水頭特性

- 端部はヘルマウス形状で低損失水頭。
- SUSバンドはゴム埋め込み型で低損失水頭。

施工特性

- φ600mmのマンホールから資材搬入。
- 管径φ600～φ3,600mmの実績。
- 膝まで水が有っても施工可能。
- 管種を選ばず即施工可能。
- 人力施工で動力不要。
- 全国32,000箇所36年の実績と信頼。

内面バンドは、
老朽管路を耐震性
蘇らせます。

更新・更生
工事の費用・
時間問題を
全て解消!



■Q・kanの幅広い用途

使用区分／上水道、下水道、工業用水、
農業用水、その他。
管の種類／ヒューム管、PC管、鋼管、
鋳鉄管、FRPM管、その他。
実績口径／φ600mm～φ3,600mm
特殊サイズは必要に応じ承ります。



救管
Q・kan

中!!

CONTENTS カタログ目次

内面バンド型式別寸法表	3	Q・kanは低損失水頭型のフォルム	15
管継手を再生・保全/地震時の漏水原因	5	開水路型伸縮継手	16
内面バンド試験	7	各種設備納入実績	17
内面バンドによる管接合及び管補修事例	9	台風をコントロール	20
内面バンド管更生工法	11	施工実績	21
内面バンドの施工手順	13	会社概要	22

管路に

▼構造物接合部の漏水



▼PC管丸ゴム飛び出しの漏水



▼ダクタイル管の継手漏水



埋設管は、私たちが日常目に触れることのない地中で、毎日の快適な生活と産業を支え続けているライフラインです。そのライフラインが、埋設後の長い時を経て、いま黄信号、赤信号が点滅しています。埋設管の継ぎ目のゴムが経年劣化により止水能力が低下し、地震などの自然災害ばかりでなく、自動車の荷重・振動や地盤の不等沈下、土荷重の影響で今まさに漏水の危機に瀕しています。埋設管の漏水や地下水の浸水により、土砂の流出・道路の陥没・断水などは、私たちの生命・財産を脅かし、社会的影響は甚大です。

当社では、埋設管の漏水防止工事のあり方を決定的に変え、早36年の歳月と32,000箇所の施工実績を残してきました。内面バンドは、単に埋設管の漏水補修にとどまらず、合理的な止水メカニズムを生かし、総ての管の接続に発展させるべく、低損失水頭型にリニューアルし、更に、埋設管の状況に応じ4タイプの内面バンドを開発し、あらゆる埋設管の接合に即応できる体制を整えると共に、管体の劣化に対応し内水圧をSUS鋼管で受け持つもどで、埋設管の破壊による大量の出水被害を防止する、内面バンド管更生工法を開発し施工中であります。

予想される地震災害を最小限度に食い止める、迅速に更生復旧する為にも、埋設管の地震対策として内面バンドがお役に立てるものと確信しております。左の写真は、地震による被害例です。

▼φ3,350mm管 内面バンド取付工事



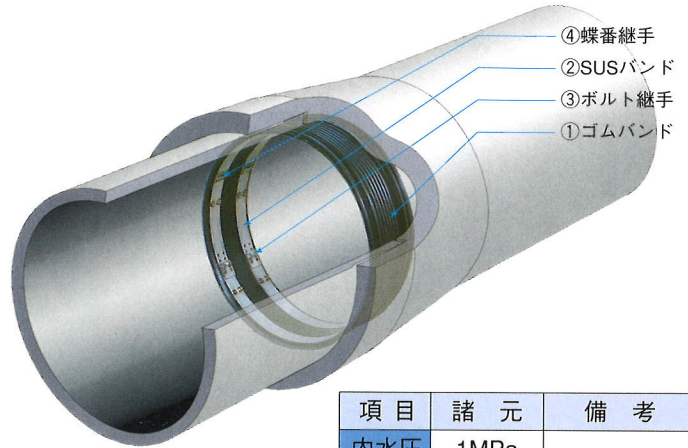
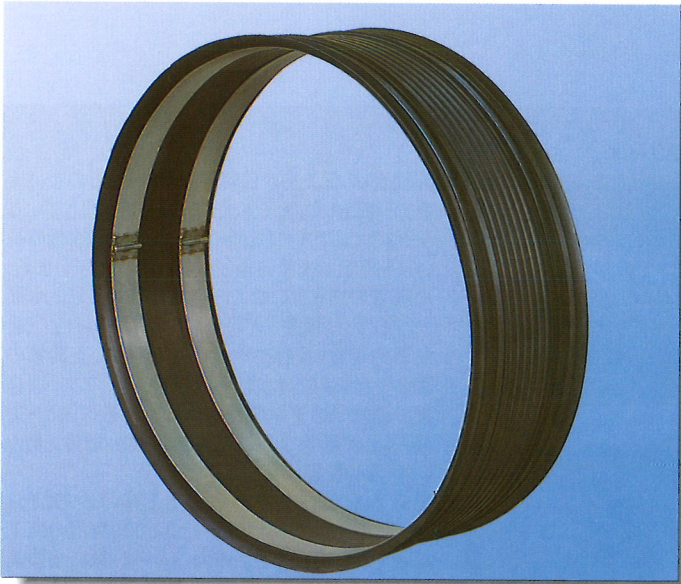
特許登録
埋設管の性能向上が可能な
更生工法
登録第3556895号

▼φ1,000mm管 内面バンド取付完了



内面バンドは、管接合の万能

標準型



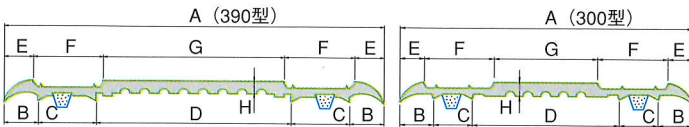
項目	諸元	備考
内水圧	1MPa	
外水圧	0.05MPa	補強で0.1MPa
偏角	5度	
段差	30mm	

■内面バンド寸法表

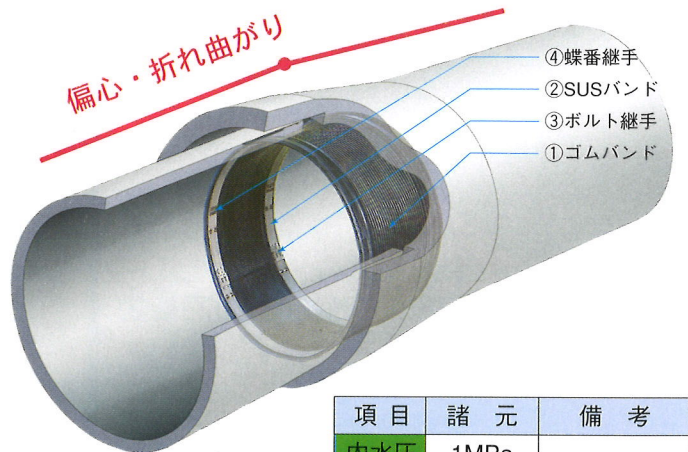
(単位:mm)

型式	A	B	C	D	E	F	G	H
390	390	35	60	200	30	72	186	13
300	300	35	40	150	25	72	106	14

※水密ゴムの材質はSBR (JISK6353 I 類 A種 硬さ60)とする。
日本水道協会規格 JWWA K 156 : 2004 対応
(300型φ600以上・390型φ450以上より製作)



伸縮型



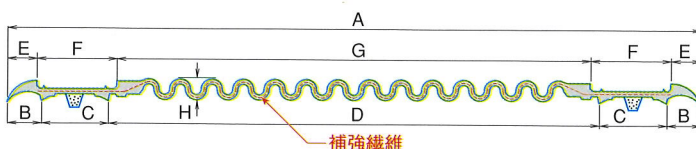
項目	諸元	備考
内水圧	1MPa	
外水圧	0.03MPa	補強で0.1MPa
偏角	10度	
段差	100mm	

■内面バンド寸法表

(単位:mm)

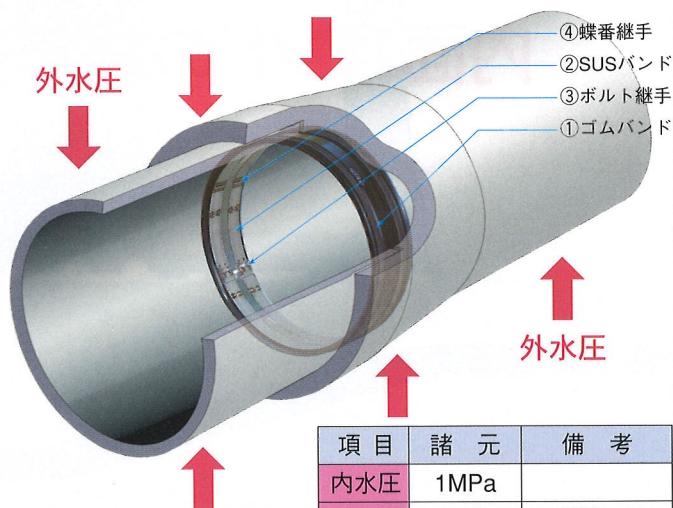
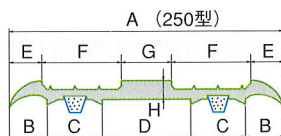
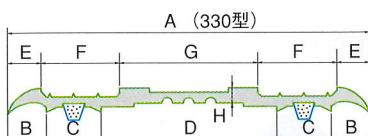
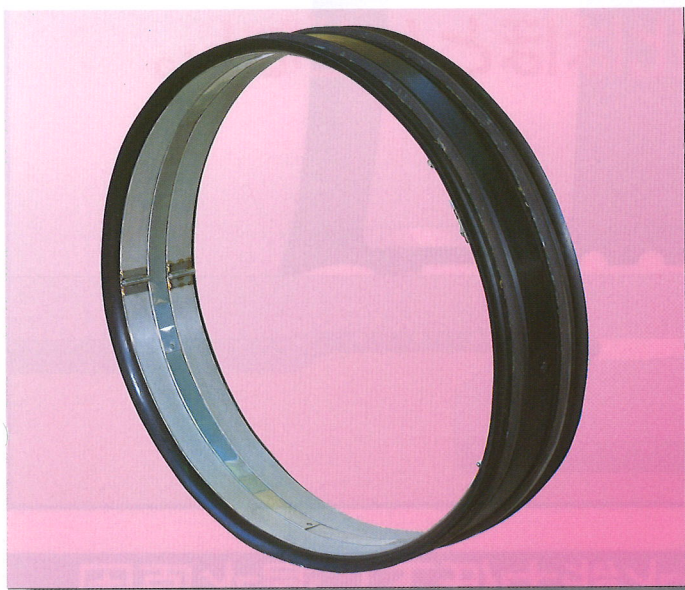
型式	A	B	C	D	E	F	G	H
800	793	39	77	561	34	92	541	24
600	593	39	60	395	34	72	381	24

※水密ゴムの材質はSBR (JISK6353 I 類 A種 硬さ60)とする。
日本水道協会規格 JWWA K 156 : 2004 対応
(φ600以上より製作)





外水圧型



項目	諸元	備考
内水圧	1MPa	
外水圧	0.2MPa	250型は0.1MPa
偏角	—	
段差	20mm	

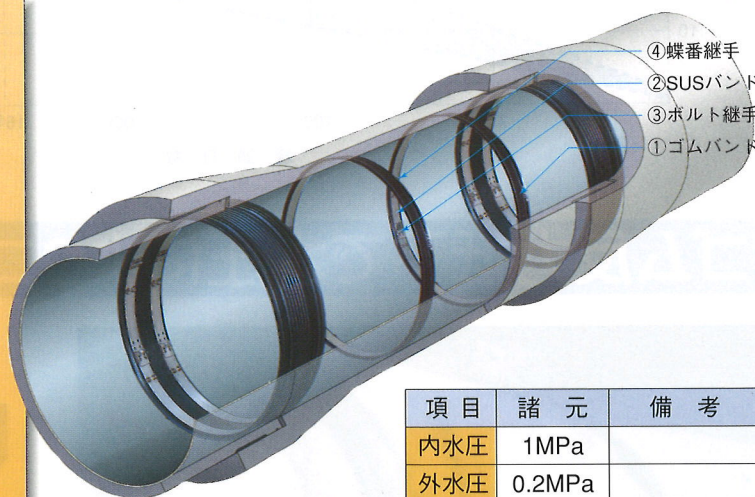
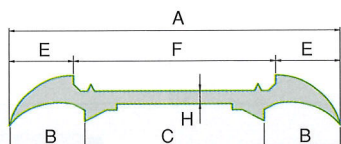
■内面バンド寸法表

(単位:mm)

型式	A	B	C	D	E	F	G	H
330	330	35	50	160	30	72	126	17
250	250	35	50	80	30	72	46	17

※水密ゴムの材質はSBR (JISK6353 I類 A種 硬さ60)とする。
日本水道協会規格 JWWA K 156 : 2004 対応

ステンレス管接合型



項目	諸元	備考
内水圧	1MPa	
外水圧	0.2MPa	
偏角	—	
段差	2mm	

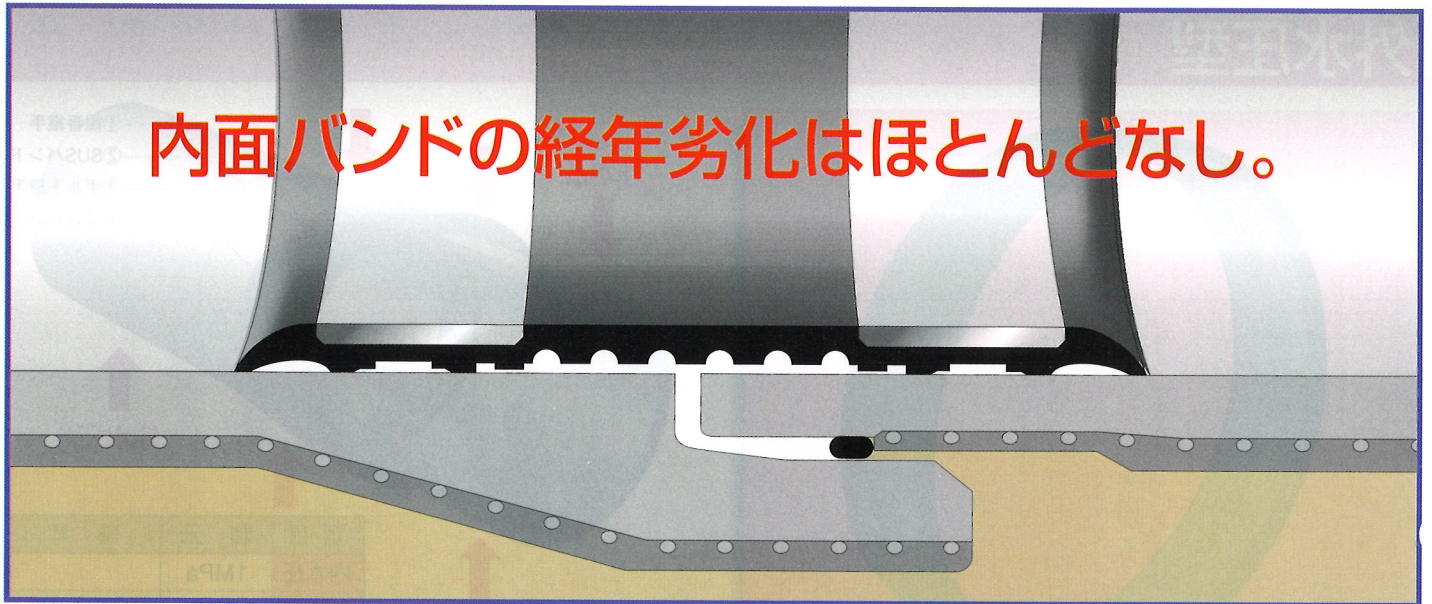
■内面バンド寸法表

(単位:mm)

型式	A	B	C	D	E	F	G	H
150	150	34	82	—	29	92	—	6
130	130	34	62	—	29	72	—	6

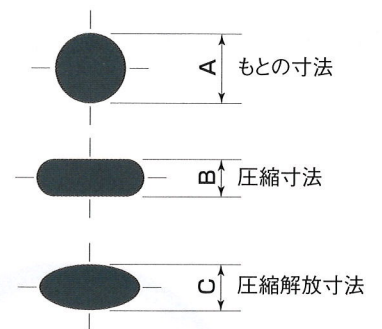
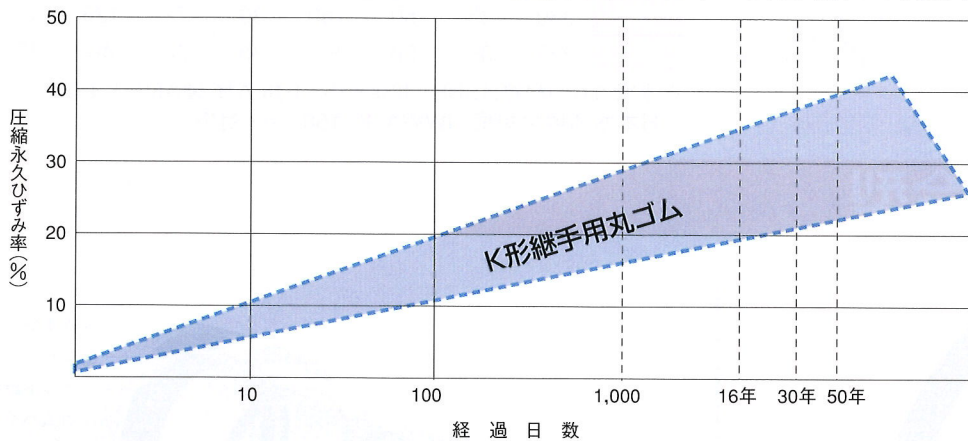
※水密ゴムの材質はSBR (JISK6353 I類 A種 硬さ60)とする。
日本水道協会規格 JWWA K 156 : 2004 対応

管継手は水圧と共生する内



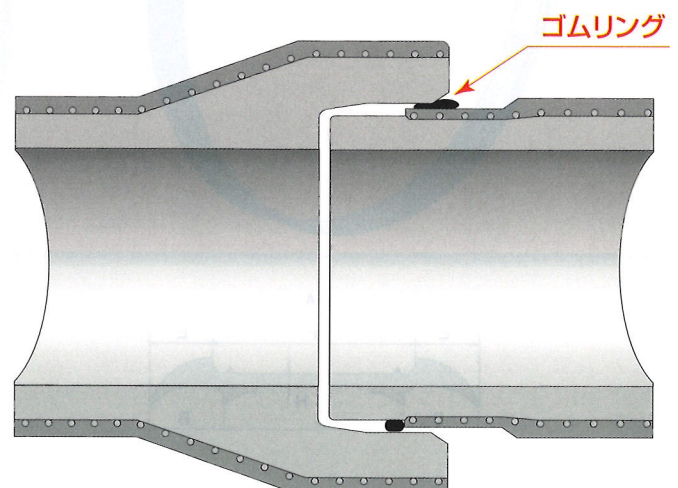
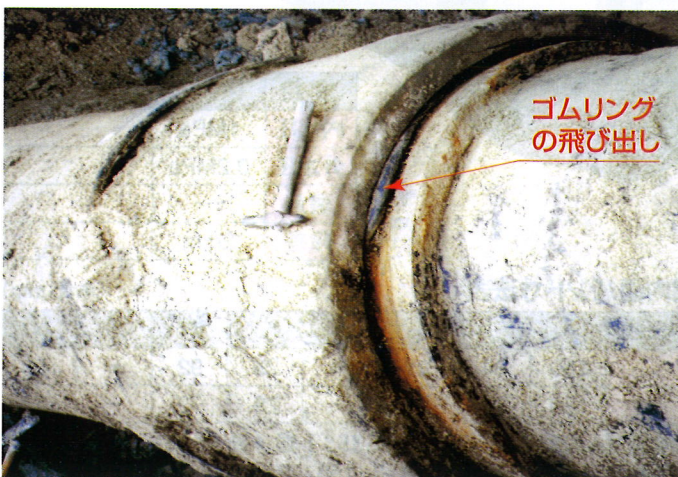
管継手ゴムは経年劣化で止水能力低下し漏水原因

K形継手用丸ゴム部とPC管用丸ゴムの圧縮永久ひずみ率と経過日数との関係 (材質SBR)



$$\text{圧縮永久ひずみ率} = \frac{A-C}{A-B} \times 100$$

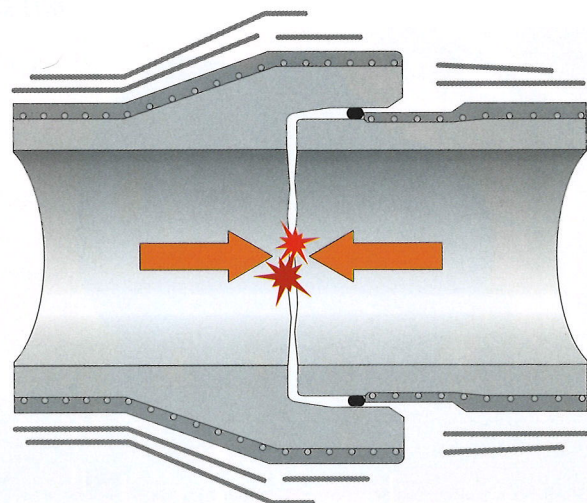
ゴム反力低下で水圧によりゴムリング飛び出し漏水



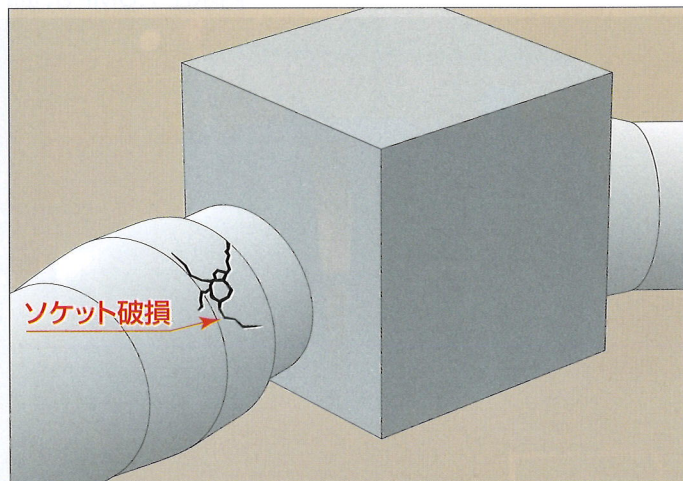
面バンドで再生・保全。



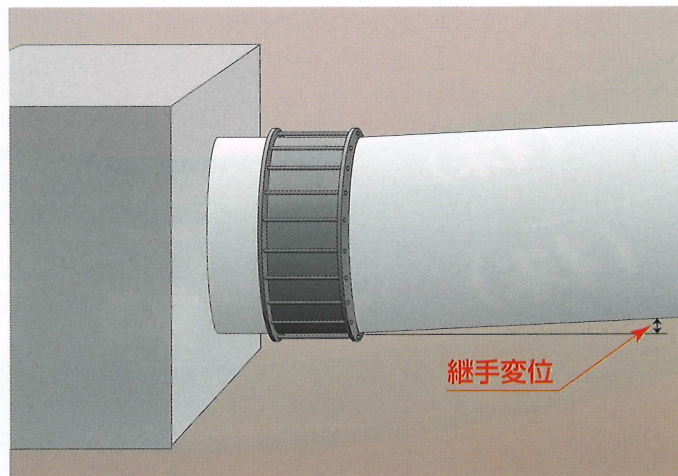
地震時には管継手は衝突の繰り返りで漏水



地震時には曲管部に集中応力が作用し管破損漏水



構造物付近の管継手は不等沈下で漏水



内面バンド試験

① 2方向水圧試験機 (曲げ角度左右5度、継手段差50mm)

水圧試験機全景

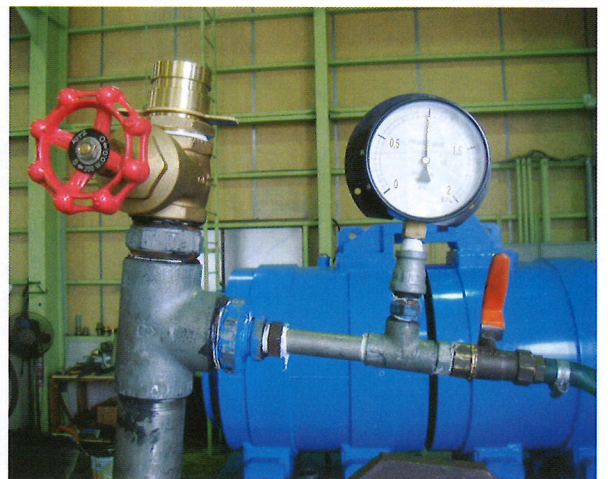
覗き窓から挙動観察



② その他の水圧試験機

内水圧1.0MPa、曲げ角8度

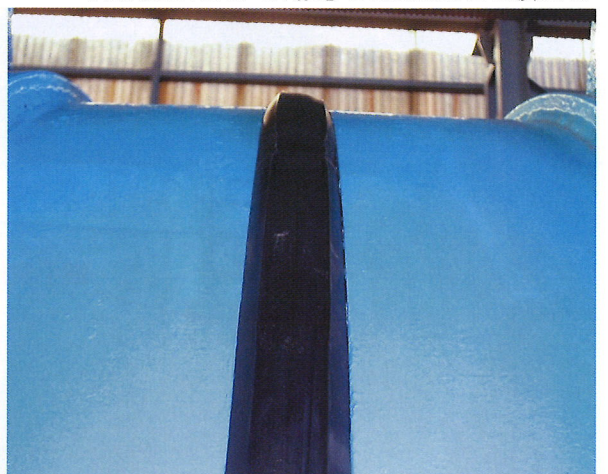
内水圧1.0MPa、5分間保持後変化無し



③ 内面バンドの内外水圧とゴムの膨れ出し状況

外水圧0.3MPaのゴムと外圧抵抗板

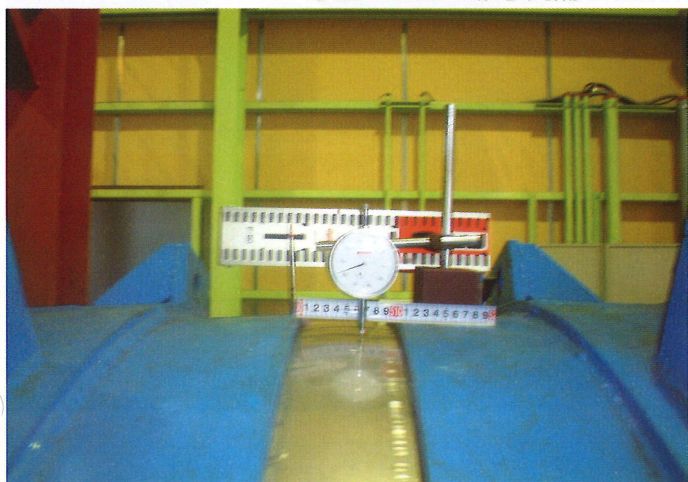
内水圧0.5MPa、継手30mmのゴム膨らみ





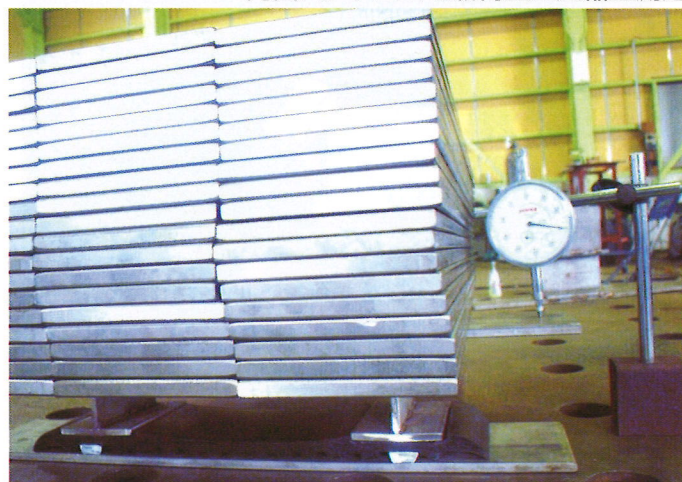
④ 水圧と補助板タワミ測定

水圧0.8MPa継手間隔100mm

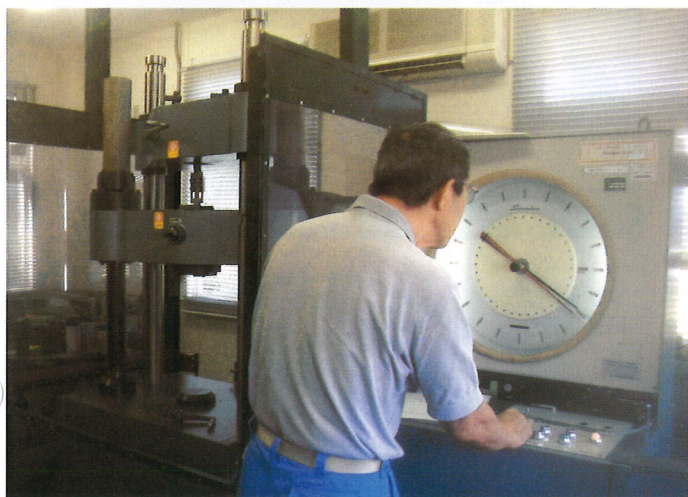


⑤ 内面バンドゴム载荷試験

内面バンドゴムの载荷重と圧縮量測定



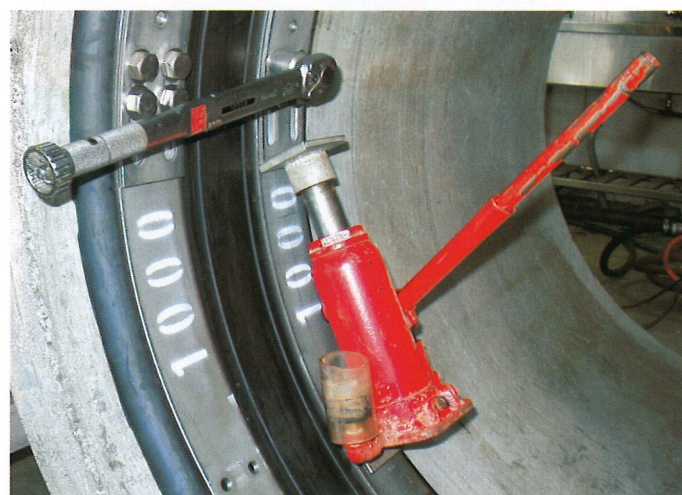
⑥ SUSバンド固定部の引っ張り強度試験と試験片



⑦ 拡張ジャッキ(コンパス型)



⑧ 拡張ジャッキ(直押し型)

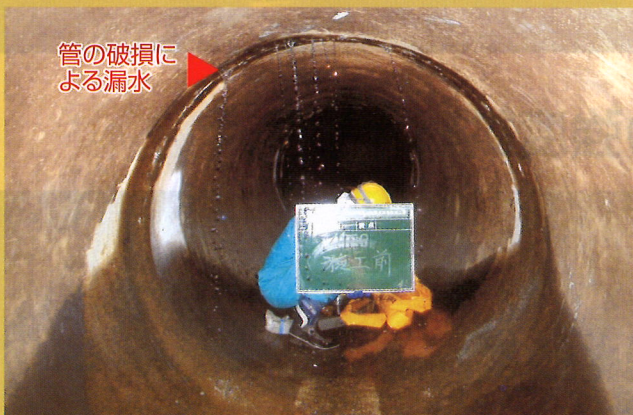


内面バンドによる管接合 及

① 漏水箇所部の内面バンド設置

施工前

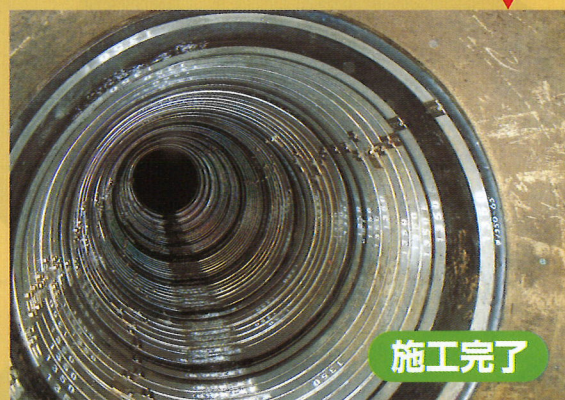
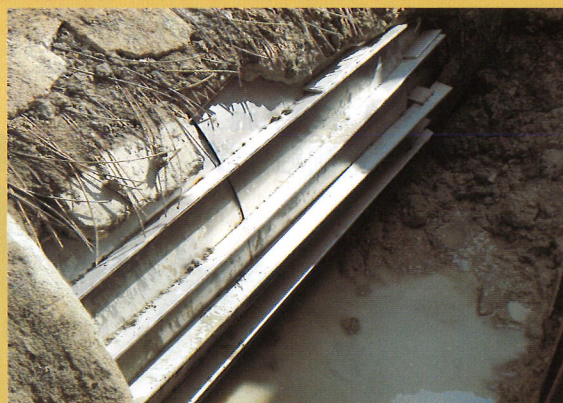
施工完了



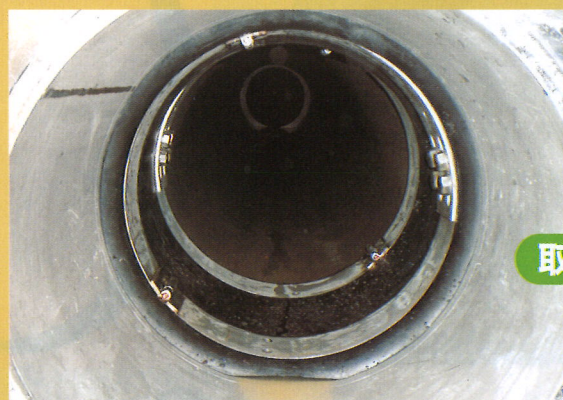
び管補修事例

管体のあらゆる劣化・変形・破損状態に応じて、適応する内面バンドを選び管補修に対処・即応できます。

② 破裂PC管の内面バンド管更生工法 (φ1,350)



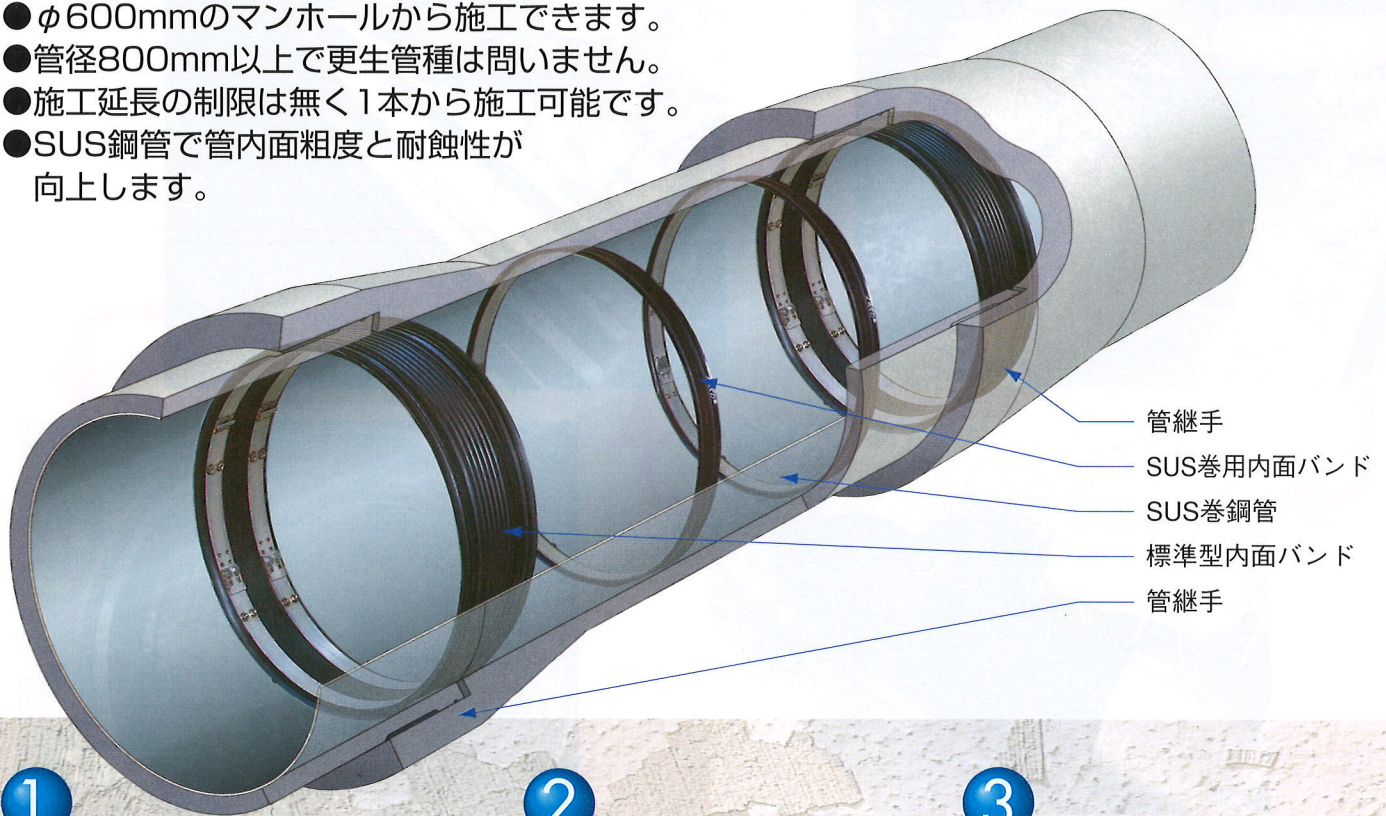
③ 人孔の無い破裂PC管の内面バンド管更生工法 (φ600)



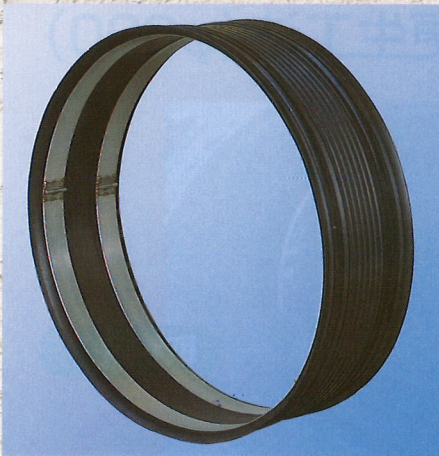
内面バンド管更生工法

内圧をSUS鋼管で受け持ち管継手は内面バンドで耐震補強です。

- φ600mmのマンホールから施工できます。
- 管径800mm以上で更生管種は問いません。
- 施工延長の制限は無く1本から施工可能です。
- SUS鋼管で管内面粗度と耐蝕性が向上します。



1 管継手は標準型内面バンド



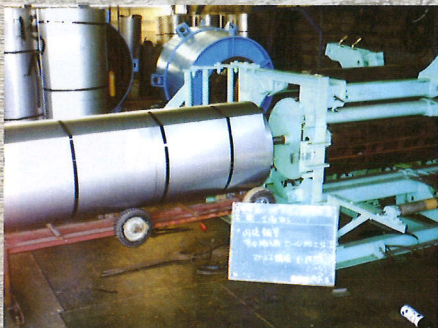
2 SUS巻用内面バンドで製管



3 SUS鋼板をφ550mmに巻取り



4 SUS鋼板を弾性変形加工



5 SUS巻管



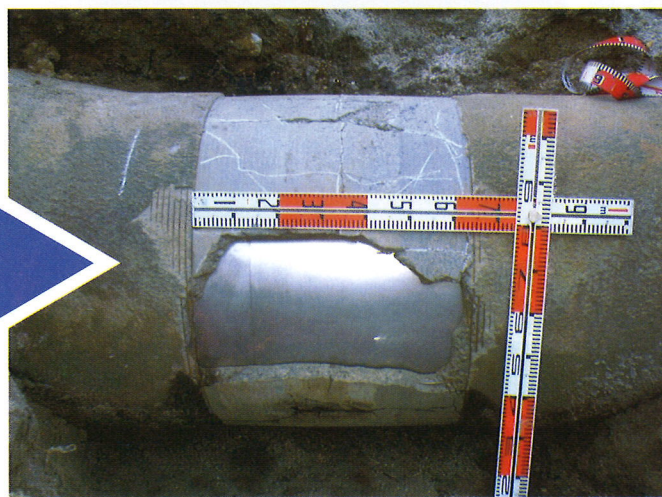
6 現場搬入





内面バンド管更生工法の応用事例

- 緊急復旧工法として活躍しています。
- 内圧はSUS鋼管で受け持ちます。
- 外圧はSUS鋼製リングを管内面に装着し受け持ちます。



7

φ600mmマンホールから搬入



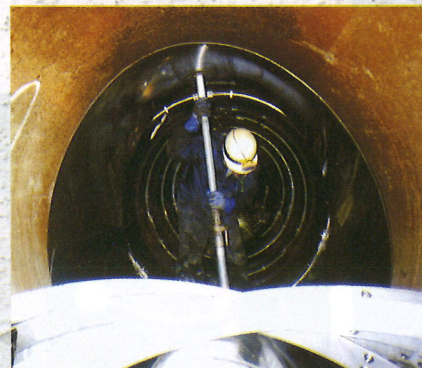
8

管内運搬



9

SUS巻鋼板を拡張



10

SUS巻鋼板をアルゴン溶接



11

溶接によりSUS鋼管完成



12

内面バンドで接合し完成



内面バンドの施工手順

資材搬入

① 人孔より資材搬入します。



②



③



取付部の清掃

④ 内面バンド取付部の管内壁清掃作業。



材料・工具運搬

⑤ 材料及び工具類を運搬します。



⑥



パーツの配置

⑦ 材料を所定の位置に配置します。



⑧ 管内目地に止水ゴムを押し広げます。





止水ゴムの設置

9 管内目地に沿って止水ゴムを広げます。



SUSバンドの取付

13 固定金具を締め付け後、レンチを使用してボルトを締め付けます。



SUSバンドの設置

10 SUSバンドをピンを用いて組立。止水ゴムに添わせませす。



施工完了

14 内面バンド取り付け完了。



SUSバンドの取付

11 油圧ジャッキ固定用地具を設置し、油圧ジャッキをセットします。



12 SUSバンドが確実に装着されている事を確認し、加圧して固定金具を締め付けます。



● 固定金具・ボルト設置状況。



● 内面バンドの接続状況。



両サイドのバンドの押さえ強度が甘いと、完了後のトラブル発生になりやすいので(バンド・金具の幅・厚さ等)特に注意が必要です。

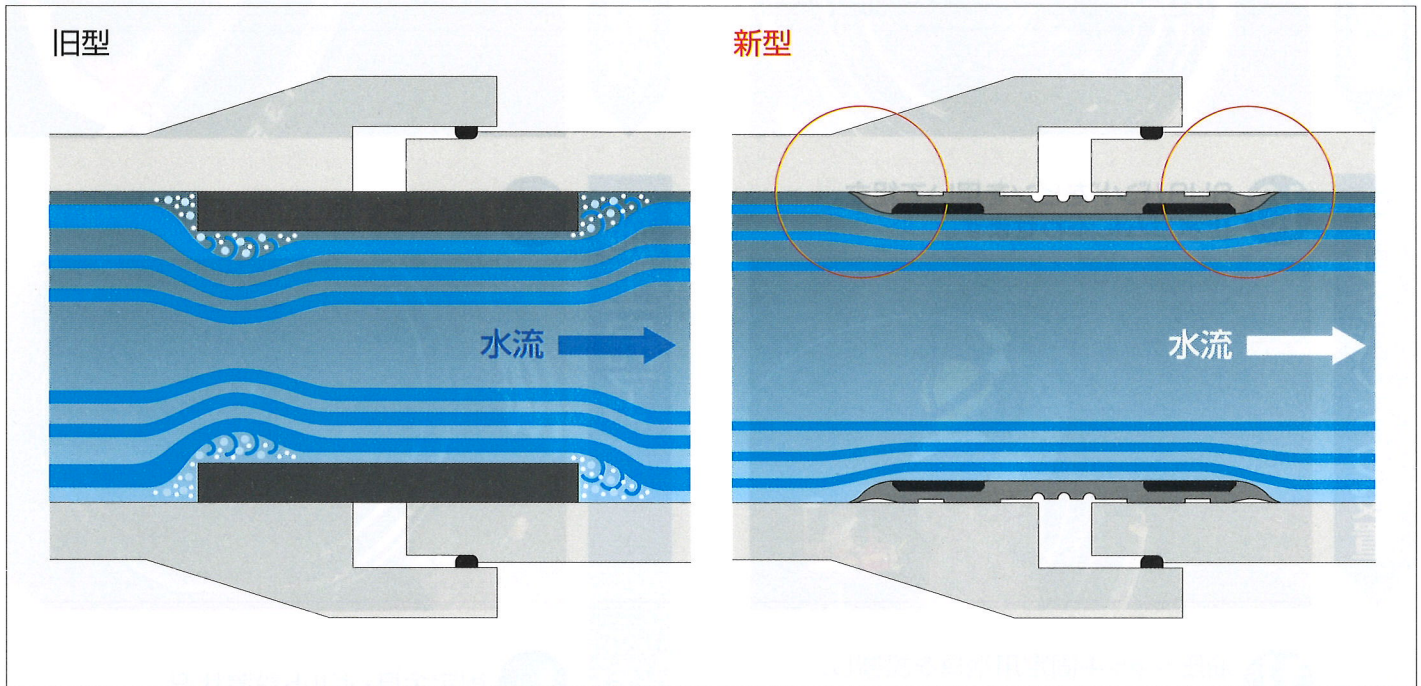
Q·kanは低損失水頭型のフォーム。 流水はいつもスムーズ。

特徴

1. 止水構造は33年・26,000個の実績。
2. 形状は平滑で薄いペルマウス形状で低損失。
3. 形状は意匠登録済み。



急縮・急拡から漸縮・漸拡への進化で低損失水頭を実現。



●内面バンド型式別損失係数表

損失水頭＝損失係数×（内面バンド内径の速度水頭）

型式	標準型		伸縮型		外水圧型		ステンレス管接合型		
	幅	390	300	800	600	330	250	150	130
口	600	0.028	0.019	0.042	0.029	0.027	0.026	0.029	0.024
	700	0.021	0.014	0.031	0.022	0.020	0.020	0.022	0.018
	800	0.016	0.011	0.024	0.017	0.016	0.015	0.017	0.015
	900	0.013	0.009	0.019	0.013	0.013	0.012	0.014	0.012
	1,000	0.011	0.008	0.016	0.011	0.011	0.010	0.012	0.010
	1,100	0.009	0.006	0.013	0.009	0.009	0.009	0.010	0.008
	1,200	0.008	0.006	0.011	0.008	0.008	0.008	0.008	0.007
	1,350	0.006	0.005	0.009	0.006	0.006	0.006	0.007	0.006
	1,500	0.005	0.004	0.007	0.005	0.005	0.005	0.006	0.005
	1,650	0.005	0.003	0.006	0.005	0.004	0.004	0.005	0.004
径	1,800	0.005	0.003	0.005	0.005	0.004	0.004	0.004	0.004
	2,000	0.004	0.003	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004
	2,100	0.004	0.003	0.004	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003
	2,200	0.003	0.002	0.004	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003
	2,300	0.003	0.002	0.004	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003
	2,400	0.003	0.002	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003
	2,500	0.003	0.002	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.002
	2,600	0.002	0.002	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
	2,700	0.002	0.002	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
	2,800	0.002	0.002	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
	2,900	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
	3,000	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
3,100	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	
3,200	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	

開水路型伸縮継手

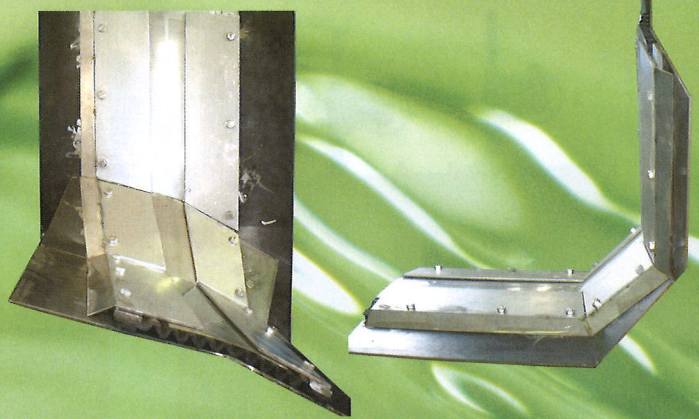
特許:
コンクリート構造物の伸縮
可能な後施工型可とう継手
装置 第4214108号

伸縮量60mm、内水圧0.10MPa・外水圧0.10MPa対応の耐震継手

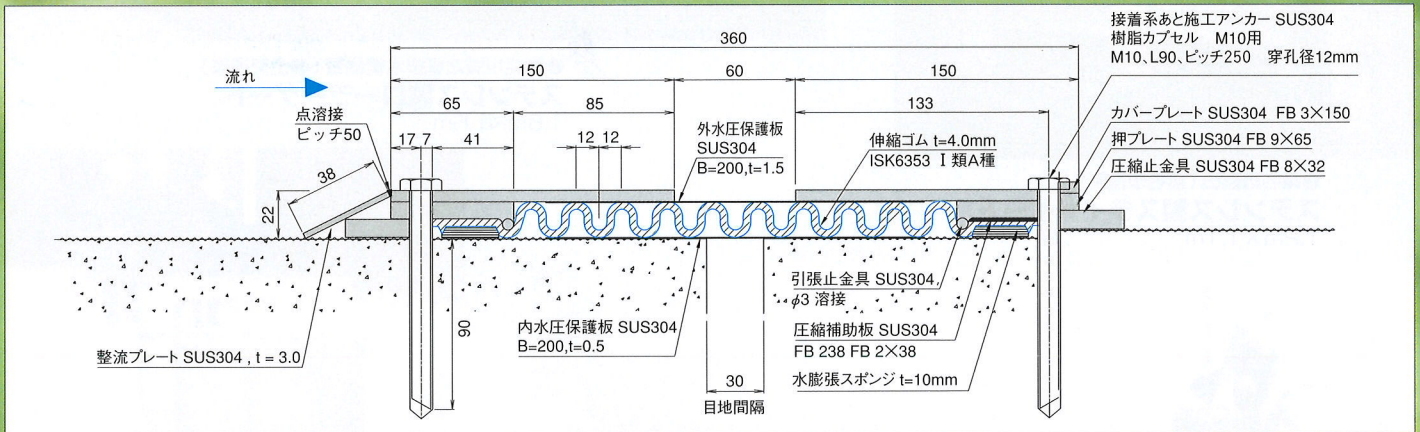
1 開水路型伸縮継手試験



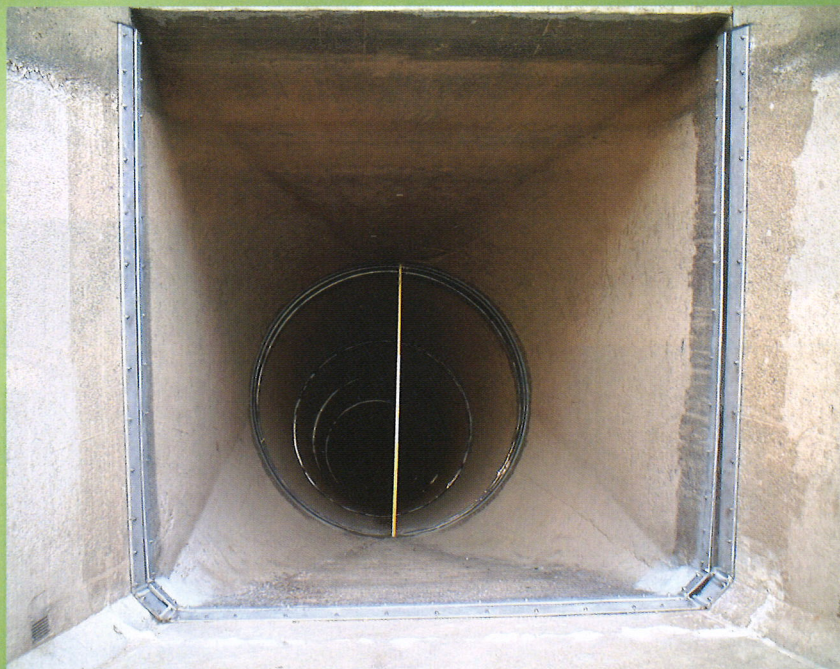
2 トランジション原寸模型



3 標準断面図



4 複雑な形状のトランジション設置例



広く水施設で活躍する(株)伊

各種設備納入実績

各種ゲート



●桑名市額田(桑名市役所)
ステンレス製スライドゲート
1.2m×1.1m



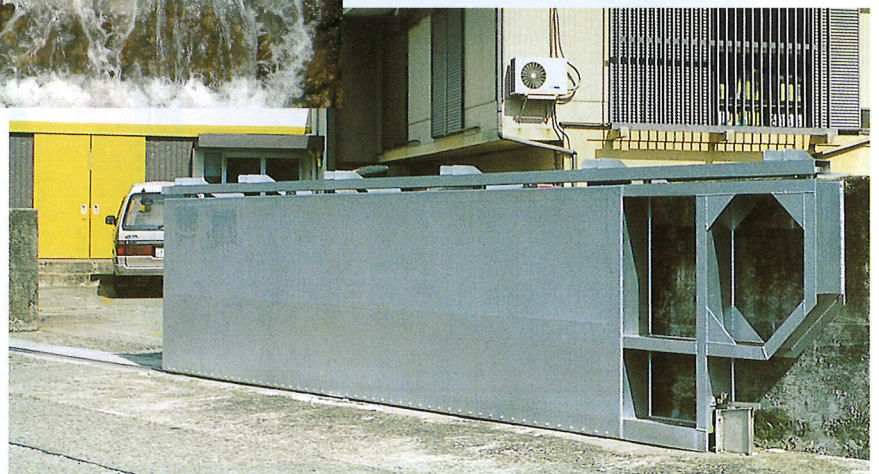
●揖斐川城之堀排水機樋管(国土交通省)
ステンレス製ローラーゲート
1.6m×1.6m



●桑名市芳ヶ崎(桑名市役所)
ステンレス製転倒ゲート
4.2m×0.4m



●四日市市中村町
(四日市市農林商工環境事務所)
ステンレス製スライドゲート
1.5m×1.0m



●尾鷲市大曾根浦漁港(尾鷲市役所)
アルミ製横引きゲート
5.00m×1.50m

勢工業のテクノロジー。

各種ゲート



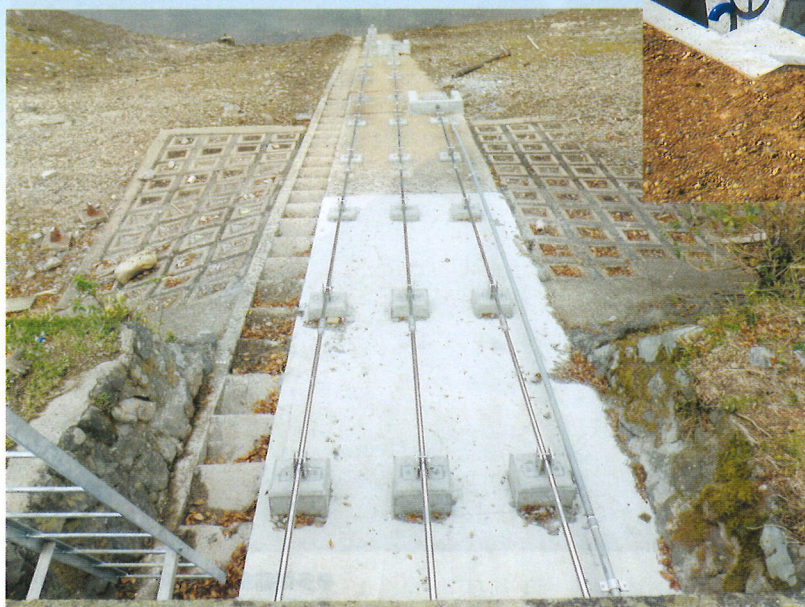
●尾鷲市大曾根浦漁港（尾鷲市役所）
ステンレス/アルミ製横引きゲート
10.0m×3.6m



●天竜川北鹿島第2陸開
（国土交通省）
銅製プレートガータ式
スイングゲート
3.5m×1.3m



●桑名市深谷部
（桑名市農政環境事務所）
斜樋ゲート 23L 1連
φ200mm×φ300mm
底樋ゲート 1門
0.8m×0.8m



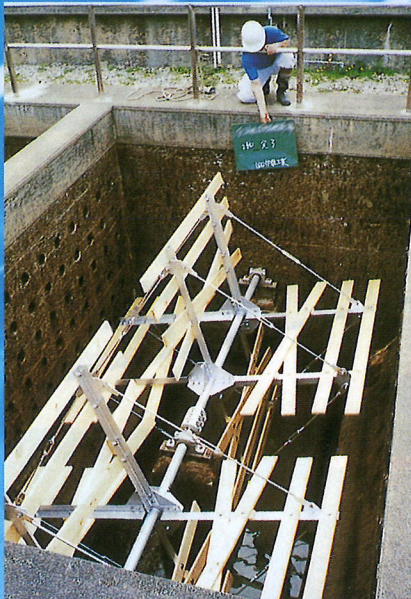
●伊賀市柘植町（伊賀農林商工環境事務所）
電動斜樋ゲート
φ250mm×10.95m



広く水施設で活躍する(株)伊

各種設備納入実績

攪拌装置



●志摩水道事務所(三重県企業庁)
フロキュレータ(翼車)

除塵機



●多気郡多気町(三重県企業庁)
固定式エンドレス自動除塵機
2.0m×2.4m



●千倉排水機場
(桑名農政環境事務所)
背面降下前面揺揚式
除塵機
3.2m×3.8m

その他の構築物等

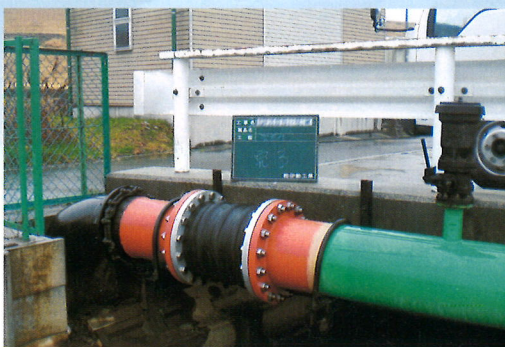


●桑名市長島町大字松ヶ島
(桑名農政環境事務所)
木製床版 人道橋上
13.3m×2.0m



●愛知用水(愛知用水総合管理所)
救命筏

●三重県桑名市多度町
(三重県用水管理所)
可とう管 φ400露出型

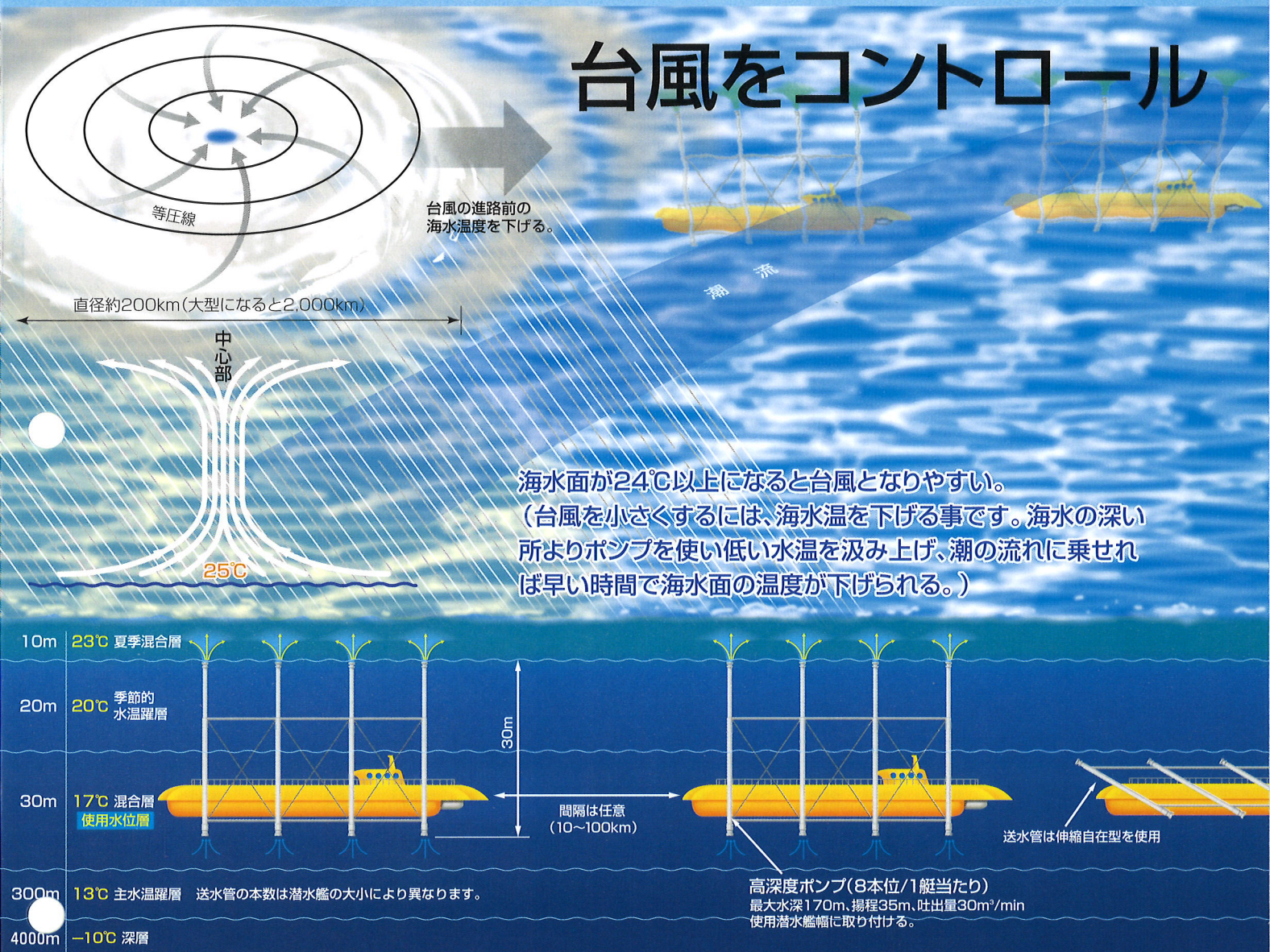


●志摩市磯部町恵利原(三重県企業庁)
神路ダム斜樋ゲート設備改良(潜水作業)
1.5m×2.85m

●多気郡多気町相可(三重県企業庁)
沈澱池 耐震目地設置
上流側(L=19.9m)
下流側(L=19.6m)
各2箇所

勢工業のテクノロジー。

台風をコントロール



海水温が上がれば温暖化が進み生物を守れなくなります。

台風は暖かい海面から供給された水蒸気が凝結して雲粒になるときに放出される熱をエネルギーとして発達します。大きな台風に発達しない様、進行方向前方の海水表層の水温を下げることを目的としています。各潜水艦は間隔を適切に保ちつつ台風前方の水温を下げるように移動し、安全面でも台風より約10~100kmの間隔をとり移動します。潜水艦の速度は潮流に乗せることにより冷水は自在に動きます。台風時期以外の利用方法として水温下げ、プランクトンを吸い上げることにより漁業に役に立ち、海底の活性化にも役立ちます。また、この作業を行うことにより表面水温が下がり地球温暖化緩和にも役に立つと思います。使用しなくなった潜水艦を改造し、平和利用に活用する事で世の中に平和をもたらすのではないのでしょうか。



国際特許取得 米・印・メキシコ・日本 発明者 北村皓一

施工実績

[内面バンド] 主な納入先

NO	機 関 名 称	NO	機 関 名 称	NO	機 関 名 称	NO	機 関 名 称	NO	機 関 名 称					
1	国	北海道開発局管内	14	県	山形県	27	県	山梨県	40	県	広島県	53	県	鹿児島県
2		東北農政局管内	15		福島県	28		長野県	41		鳥取県	54		沖縄県
3		関東農政局管内	16		新潟県	29		静岡県	42		島根県	55		桑名市
4		北陸農政局管内	17		栃木県	30		愛知県	43		山口県	56		大阪市
5		東海農政局管内	18		福井県	31		岐阜県	44		香川県	57		神戸市
6		近畿農政局管内	19		茨城県	32		三重県	45		徳島県	58		福岡市
7		中四国農政局管内	20		群馬県	33		滋賀県	46		愛媛県	59		川崎製鉄
8		九州農政局管内	21		埼玉県	34		京都府	47		福岡県	60		大昭和製紙
9		機構	水資源機構		22	千葉県		35	大阪府		48	長崎県		61
10	県	青森県	23	東京都	36	奈良県	49	宮崎県	62	日本製紙				
11		岩手県	24	神奈川県	37	和歌山県	50	佐賀県	63	神崎製紙				
12		宮城県	25	富山県	38	兵庫県	51	大分県	64	四国電力				
13		秋田県	26	石川県	39	岡山県	52	熊本県						

[漏水止め内面バンド] 年度別施工実績表

平成25年3月現在

年度	口径	500~600	700	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,400	1,500	1,650	1,800	1,900~ 3,600	計(組)
S.52~H.4		68	71	396	526	1,929	1,722	1,442	559		1,527	2,188	246	153	10,827
H.5		27	15	28	38	105	18	144	109		163	62	4	2	715
H.6		17	18	35	39	27	44	38	135		354	37			744
H.7		37	67	16	13	56	25	13	116		396	32	14	5	790
H.8		8	65	92	9	45	20	13	52		468	16	4	29	821
H.9		12	12	59	33	32	25	95	34	15	52	104	24	53	550
H.10		18	21	23	36	30	86	34	189		123	25	6	38	629
H.11		3	131	19	145	110	36	39	93	5	91	79	10	6	767
H.12		16	20	63	200	23	9	85	37		41	40	7	4	545
H.13		22	24	62	98	272	125	53	40		51	12	19	11	789
H.14		31	49	34	55	120	20	25	253		58	302	7	134	1,088
H.15		60	60	71	114	44	37	117	61		45	151	11	29	800
H.16		30	17	117	48	60	47	132	37	20	134	17	26	144	829
H.17		120	56	178	26	50	75	178	183	34	164	25	23	27	1,139
H.18		30	16	58	80	85	52	242	247	1	95	16	20	49	991
H.19		46	51	144	176	49	35	160	80	1	28	37	52	20	879
H.20		82	24	34	160	94	38	119	46	40	29	4	64	24	758
H.21		115	230	221	367	69	142	68	48	78	31	9	63	22	1,463
H.22		85	80	108	295	211	318	36	60	3	253	49	11	55	1,564
H.23		87	111	237	454	140	145	319	476	10	72	435	117	374	2,977
H.24		66	78	95	331	71	132	141	62	6	40	30	58	82	1,192
H.25		70	31	133	327	32	146	202	94	1	45	49	18	47	1,195
計(組)		1,050	1,247	2,223	3,570	3,654	3,297	3,695	3,011	214	4,260	3,719	804	1,308	32,052

[その他各種設備] 主な納入先 (抜粋)

完成年度	工 種	発 注 先	設備名称	寸法又は開閉方式など
H.12	ステンレス製スライドゲート	桑名市役所	上深谷ゲート	1,780×1,000 2門 手動ベベル 1/3
H.12	フロキュレータ(翼車)	三重県企業庁志摩水道事務所	志摩水道事務所	A形バイエル・サイクロ可変減速機
H.13	ステンレス製スライドゲート	三重県企業庁三瀬谷発電所	長発電所	2,230×2,230 1門 電動スピンドル
H.14	ステンレス製スライドゲート	桑名市役所	東汰上ゲート	600× 800 1門 電動スピンドル
H.15	伊坂フロック形成池流入弁取替	三重県企業庁北勢水道事務所	伊坂浄水場	1,350×1,350 1門 電動スピンドル
H.15	ワイヤー式起伏ゲート	桑名市役所	下深谷頭首工ゲート	3,200× 600 1門
H.16	ステンレス製スライドゲート	桑名市役所	額田排水樋門	1,200×1,100 2門 手動ラック
H.16	ステンレス製ローラーゲート	国土交通省 木曾川下流工事事務所	城之堀排水機樋管	1,600×1,600 1門 電動ラック
H.17	遮光ネット、防鳥ネット 装置	三重県企業庁中勢水道事務所	高野浄水場	693m ² 1,318m ²
H.17	ステンレス製スライドゲート	三重県企業庁北勢水道事務所	伊坂浄水場	1,350×1,350
H.18	流入ゲート	三重県企業庁北勢水道事務所	沢地浄水場	2,300×1,200 2基
H.18	鋼製スライドゲート	川越町役場	川越漁港	4,140×2,510
H.19	制水用スライドゲート	桑名農政環境事務所	笠田大溜地区	800×800 2基 手動
H.20	空気弁設置	伊賀水道建設事務所	伊賀市ゆめが丘	φ75 急速空気弁設置 φ100 双口空気弁設置
H.20	除塵機改修	桑名農政環境事務所	近江島排水機場	3,900×3,300 背面降下前面掻揚式
H.21	電動斜樋ゲート	伊賀農林商工環境事務所	大杣池取水施設	φ250mm 樋管用 電動
H.21	ステンレス製スライドゲート	四日市農林商工環境事務所	羽津井堰地区ゲート	土砂社ゲート(B2,000×H1,000)手動ラック 取水ゲート(B1,500×H1,000)手動ラック
H.22	ステンレス製起伏ゲート、スライドゲート	桑名市役所	七和地区用水路ゲート	起伏ゲート(4.2m×H0.4m)1門 スライドゲート(0.6m×H0.6m)1門
H.22	アルミ合金製スライドゲート	鈴鹿建設事務所	二本木川樋門ゲート	3,000×2,200 6門
H.23	沈澱池耐震目地設置	三重県企業庁中勢水道事務所	高野浄水場沈澱池	W13.45×L47.75×H4.2 8ヶ所
H.24	アルミ合金製横引ゲート	鈴鹿建設事務所	千代崎港防潮堤	3,030B×1,980H 1門
H.25	吐水槽嵩上げ補強	桑名農政事務所	大鳥居排水機場	W5,600×L11,000×H1,400
H.25	ステンレス製フラップゲート	桑名市上下水道部	下深谷ポンプ場	φ800 2基

会社概要

沿革

称 号 株式会社 伊勢工業
設 立 平成4年5月
資 本 金 2,000万円

営業品目 内面バンド 製作・取付
鋼構造物設計・製作・据付
水門扉設備
揚排水機設備
配管工事
その他機械の据付工事

本社・工場 〒511-0838
三重県桑名市大字和泉701番地
TEL 0594-21-1758
FAX 0594-21-7957
<http://www.isekogyo.co.jp>

第二工場 〒511-0838
三重県桑名市大字和泉348番地

代 表 者 代表取締役 伊藤美代子

取引銀行 百五銀行 江場支店
大垣共立銀行 桑名支店

特許・意匠・商標登録

特許/名称	登録番号
埋設管の性能向上が可能な更生工法	第3556895号
耐震性管更生工法における管接続装置	第3821215号
低損失水頭型環状体	第4084632号
ステンレス鋼板による鋼管の更生工法	第4229694号
外水圧対応型止水装置	第4098129号
コンクリート構造物の伸縮可能な後施工型可とう継手装置	第4214108号
海面の水温低下装置(日本)	第4559978号
(国際特許・米国)	第7832657号
(国際特許・インド)	第240472号
(国際特許・メキシコ)	第285030号

意匠/名称	登録番号
上・下水管用止水バンド	第1179301号
上・下水管用止水バンド	第1179737号
上・下水管用止水バンド	第1375882号
上・下水管用止水バンド用止水リング	第1405222号
上・下水管用止水バンド用止水リング	第140522号類似

商標/名称	登録番号
内面バンド	第4671255号

昭和32年 創業。桑名市寿町1丁目において、北村商店名にて機器の修繕・据付けなどを主として開設。

昭和34年 桑名電気産業(株)の下請けとして、機器部門及び揚水・排水機場のポンプなどの据付け・配管工事に従事。

昭和45年 桑名市大字和泉701番地の現在地に伊勢工業として事務所及び工場を建立。

昭和48年 建設業三重県知事(般-48)第232号 機械器具設置工事業の許可を取得。

昭和52年 導水管用漏水止め装置(漏水止め内面バンド)を開発。大口径を主に全国各地からの用命を受け製作取付工事を実施。

昭和53年 建設業三重県知事(般-53)第232号 管工事業の許可を取得。

昭和61年 建設業三重県知事(般-61)第232号 土木工事業・鋼構造物工事業の許可を取得。

昭和63年 建設業三重県知事(般-63)第232号 機械器具設置工事業・管工事業・土木工事業・鋼構造物工事業の許可更新を受け、建設省中部地建管内の水門・ローラーゲート・陸閘門などの設計製作・据付け工事及び県・市・町・村の大型排水機場の機械据付けと配管工事を受注。特に三重県企業庁の各浄水場設備・修繕改良などの業務を実施。

平成4年 組織変更により株式会社伊勢工業設立。株式会社伊勢工業第2工場開設。建設業三重県知事(般-4)第232号 機械器具設置工事業・管工事業土木工事業・鋼構造物工事業の許可を取得。

平成9年 株式会社伊勢工業 本社事務所増設。

平成13年 建設業三重県知事(般-13)第232号 水道施設工事業の許可を取得。

平成14年 資本金を2,000万円に増資。株式会社伊勢工業本社工場増設。

平成15年 建設業三重県知事(般-15)第232号 電気工事業の許可を取得。

平成22年 建設業三重県知事(般-22)第232号 土木工事業・鋼構造物工事業、機械器具設置工事業・水道施設工事業・電気工事業の許可更新。